

上島の文芸

弓削歌会【弓削】

水没のさまにも見ゆる水船が意外と速し潮流に乗る

松本 悦郎

道に会う葬送寒く帰り来し庭に白百合首のべて咲く

安川二三子

凌霄花の勢い咲きてし君が家の歌会に春三氏共に語りし

和田 綱郎

高潮に草花枯れし庭の畑つわぶきの黄の鮮やかに立つ

有吉 貞子

木星と月と金星並びいる天体ショーなす暁の空

石田富美子

殉教の島原染めておだしくもこの世の海に陽の沈みゆく

上村美智子

冬近く気候変化のはげしきに地震・余震のなおつづくなり

梅林 一郎

フィクションの日本沈没さながらに北へ南へ列島軌む

島田 義治

晩秋の夕ぐれ刻は猫二匹に淡々言葉かけて過ぎぬ

地元 静子

庭畑の枇杷の白花咲き初めて籠る日

多き冬の間近し

西川 鈴子

生名俳句会【生名】

活断層揺れずにおくれ年の暮

村上もとむ

柑橘照る小島に逢ひし老いひとり

村上 水師

日付変え時計も師走のときさむ

大本 哲弘

また師走六十有余の開戦日

野町 正春

師走はや頼りなき足たよりとし

福島 鳴泉

紅葉の錦を纏ひ子に撮らる

村上 昌子

少子化の進むふると猪の子唄

浜口 延子

元旦や酔いつぶれたる顔の皺

宮本 純

山茶花の庭も狭しと咲き乱る

福島 布昌

菊薫る慶事内定おくゆかし

村上 福子

休日や一鍬打ちて時雨の畑

中本みねかず

双葉俳壇【岩城】

大根の白肌朝の光浴ぶ

児島 泰

冬小路鉄きる音の鉄工所

田名後敏子

腰すえて老母の力む大根引

林 ヨシ子



月と雲すれ違いおり亥の子唄

林 七重

平凡な暮し見ており冬の庭

古林 幹枝

野も山も静かに冬に入るひかり

山元 征子

病名の告知に迷う冬の朝

美濃部妃苗

泡立ちて海原に落つ冬岬

田中 華丘

嫁ぐ娘の置き土産なり冬薔薇

中本砂恵子

マンドリン稽古白熱の冬の夜

森本 和佳

ナース手に一輪差や冬薔薇

田名後望雨

陽を背負う磨崖佛なり紅葉谷

幸本 弧燈

ハンドルを持つ手冷たき冬来たる

伊佐 幹男

岩城分校【岩城】

「起きるの遅いっ！」と紅茶がさつと出るあったかい味感謝してます

三年生 岡野 麻紀

いいよなあネオンの下でデートするサントさん恋人ちようだい

三年生 村上 典之

パンジーがどんどん売れて気持ちいい無事完売産業祭

三年生 引地 瞳

「学校は生き物です。」と話されたへこたれ気味だ俺が支える

三年生 金子 剛

国民文化祭ふくおか2004 俳句大会で好成绩

第19回国民文化祭俳句大会の高校生部(応募総数22,407句)で、岩城小学校六年生の澤村萌さんが入選しました。

【入選句】
ただいまあ頭つつこむ冷蔵庫

【寄 附 (敬称略)】

11月30日までの受付

次の方々に寄附をいただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

- 吉井 千代
- 元森 司
- 久保 鞠子
- 竹割 輝明
- 弓削ふるさとソフトボール実行委員会
- 弓削中学校卒業四期生(亥の子会)
- 林 幸雄
- 松下 幸子
- 津國 覚
- ゆげ女性塾